

仁淀川補強（その2）工事かわら版

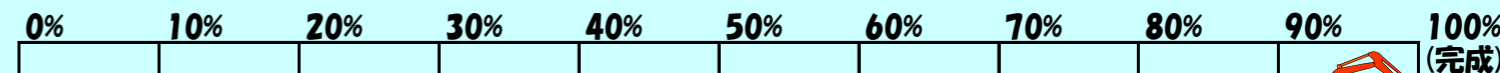


10月

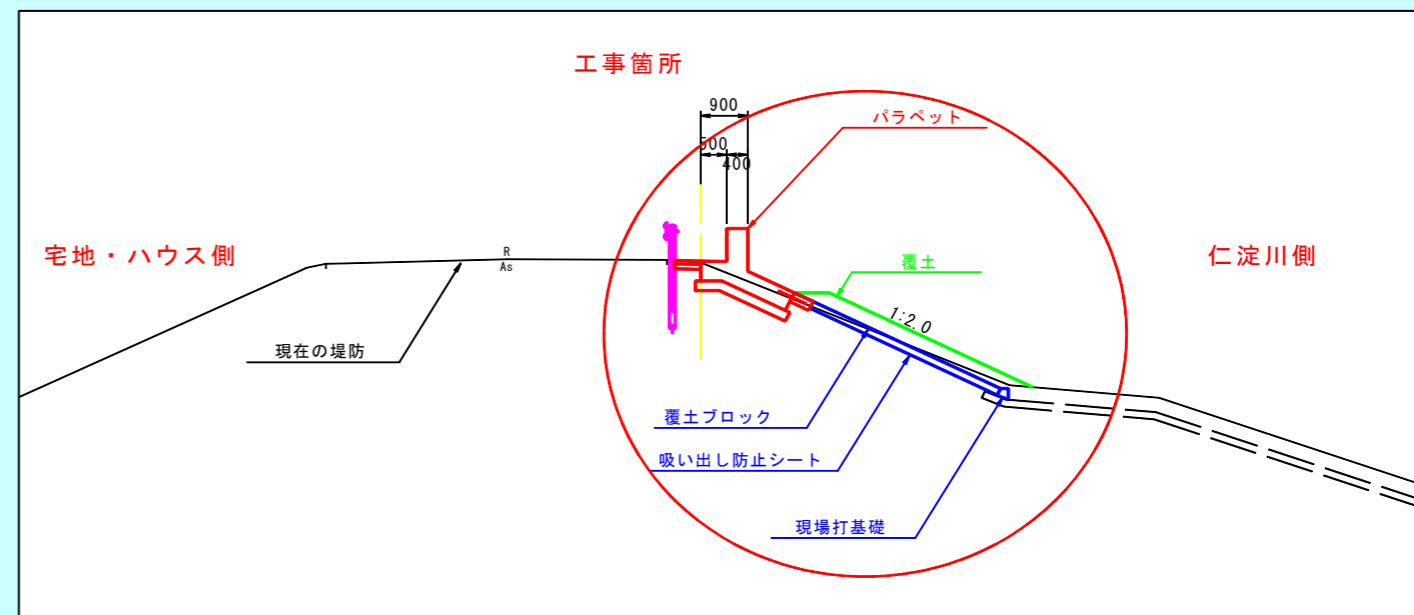
先日まで暑かったと思えば、めっきり涼しくない秋の訪れを感じながら少しセンチメンタルになる今日この頃です。皆様にはますますご健勝の事とお喜び申し上げます。

今回、「仁淀川左岸補強（その2）工事」を施工致します「新進建設株式会社」です。工事期間中、環境対策や安全対策には特に気を付けて作業を行いますので、ご協力よろしくお願いします。

工事進捗状況（9月25日現在 0.0%）



工事内容について



仁淀川の現況左岸堤防を補強し、きたるべき災害に備えます。

現在の堤防に覆土ブロック（コンクリート製）を敷設し、その上に土（覆土）を被せ張芝で覆います。堤防天端部はパラペット工（コンクリート）を行います。

工事状況報告

現在、測量作業及び準備作業を行っています。10月1日より掘削作業に順次入っていきます。県道を利用して土砂搬出作業や資材搬入を行います。今後、県道は片側交互通行規制を行いながら作業を行います。地域の方々には大変なご迷惑をお掛けしますが、工事に対するご協力をよろしくお願いします。なお、交通ルールを守り、安全に注意し工事を行います。

何かとご不便をかけるかと思いますが、ご協力よろしくお願いします。

地域探求

西畑人形

西畑人形は、明治12（1879）年ごろ、当時の西畑村でつくられた人形です。土佐では人形を「テコ」といい、人形芝居を「テコ芝居」といいました。この人形は一人使いで、「指人形の差し込み式と差し人形（棒使い人形）」という形式ですが、その特徴は、「差し金」とよばれる細い針金のような棒を人形の手に付け、それで人形の腕を操作することです。この差し金使いの技法は独自に編み出されたもので、これによってあたかも人間のように動くその精巧さに、「空気人形」などと賛辞が寄せられたといわれています。この人形を使った人形芝居は、はじめは西畑村やその近郊の芸事好きが集まって行われていましたが、のちに県内各地で三十以上の芝居の座ができるほどの広がりを見せ、なかには関西や九州へ巡業に行くなど、専門化する座もありました。また、演目も浄瑠璃や歌舞伎のほか、大正期からは浪曲なども取り入れ、大衆芸能として盛んに行われ、大変な人気を博しました。戦後は後継者もなく衰退してしまいましたが、現在では地元保存会によって伝承されるようになっています。

近年では人形の独特の操作技法が、研究者によって「世界的な人形操作技法の本流」といわれるなど、高い評価を受けています。

今まで、名前は聞いた事がありましたが、このように歴史のあるものとは・・・。恥ずかしながら知りませんでした。一度、拝見させて頂きたいです。



連絡先

新進建設(株)仁淀川左岸堤防補強（その2）工事作業所
TEL 088-894-5515
FAX 088-894-5515

自己紹介



作業所長・現場代理人の古谷 幸吉です。地域の方々の気持ちになって施工に努めてまいります。安全にまた安心して工事を見守って頂けるよう現場を進めてまいります。よろしくお願いします。

住所：南国市久礼田
生年月日：昭和 46年 4月 14日(猪年)



監理技術者の松岡 正樹です。地域の方々に不安を与えないように努力を致します。何か工事に関する問題・疑問・不満等がございましたら私に連絡をお願いします。よろしくお願いします。

住所：高岡郡日高村
生年月日：昭和 49年 8月 8日(寅年)

現場事務所及び工事施工箇所

現場事務所を下記の位置に建てました。

ぜひ遊びにいらして下さい。いろいろなお話が出来ればうれしいのですが・・・。

